

# 新型コロナウイルス感染症への対応

## 基本的な考え方・体制

総務部担当役員を対策本部長とした「新型コロナ感染対策本部」を組成しており、政府や自治体が発信する情報、社内での陽性者および濃厚接触者に関する情報などを収集・確認するとともに、対処方法を検討し、結果を社内に周知しています。

社内で陽性者および濃厚接触者が確認された場合は、所管の保健所または医師の指示に従い、早急に対応を実施し、社内外に情報開示しています。

## 取り組み事例(リスク対応)

### 感染防止対策の徹底

ミウラ独自の「ミウラガイドライン」を定め、行動指針としています。政府、自治体の指針に基づき、マスク着用や手指消毒、換気などの基本的な感染症対策はもとより、拠点においては、出勤率低減のためのシフト勤務やフレックスタイム制度、時差出勤の活用を実施しています。また、事務所内でのアクリル板設置や、従業員食堂での対面喫食から同一方向喫食への変更も実施しました。また、2021年3月期は9名の陽性者が出ましたが、即日の事務所消毒や社内接触者への自発的なPCR検査受診勧奨、自宅待機指示など感染拡大抑止に全力を尽くしました。

### リモート研修の実施

コロナ禍に伴う移動制限などから、例年行っていた、本社の研修施設に全国のフィールドエンジニアを集め、実機などに触れる技術研修はすべて未開催としました。

新入社員においては、座学での基礎教育を「Zoom」などオンラインで行った後、各拠点の教育課にて実技を中心に指導を進めています。また、既存のフィールドエンジニアに対しては、トップランナー育成のため、選抜者および上司も参加し、各自の強みを活かして、お客様の在りたい姿実現に向けた行動にするための研修を「Zoom」を利用したWEB会議形式で実施。そのほか、安全教育においても、講義を映像化し、いつでも閲覧できるよう動画教育資料を配信するなど、新たな取り組みとして進めています。今後も継続し、スーパーメンテナンス会社の実現につながる人材育成に努めていきます。

## 取り組み事例(ビジネス機会)

### オンラインによるリモート立会検収の実施

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、お客様や販売店の方々および当社担当が本社へ来場せずに立会検収を実施する方法として、オンラインによるリモート立会検収を選択肢として設け、実践しました。事前に試験・検収内容を確認し、使用する機器を増やしたほか、タブレット端末を活用して映像を送り、外観検査から性能検査まで説明しながら対応しています。

コロナ前の当社本社への来社による立会検収ルールを見直すことで、お客様満足の向上につながっており、ニューノーマルとして続ける方針です。

- 2021年3月期実施件数：約20案件
- 対象機器：ボイラ機器・アクア機器・食品機器・メディカル機器など



ボイラSQ-AS型の立会検収の様子(三浦マニファクチャリングにて)

### オンラインセミナーの開催

ミウラは、ニューノーマル時代に求められるデジタル活用に積極的に取り組んでいます。その一環として、2021年2月、WEB会議システムを利用し、東京と愛媛の2会場から「MIセミナー on Web」と題したライブセミナーを実施しました。当日は延べ400名を超えるお客様に、クイズ形式の投票やQ&Aなど、視聴者参加型の工夫を凝らしながら、ユーティリティ設備から生産機器、エネルギー管理まで手がけるミウラのトータルソリューションで、環境負荷低減とCO<sub>2</sub>排出削減の具体的なアプローチについて全8セッションを提案し、大変好評をいただきました。

特に、補助金情報の提供と活用支援をタイムリーに行うことで、ビジネス機会の創出につながっています。

詳細はウェブサイトをご覧ください。

<https://www.miuraz.co.jp/news/topics/2021/994.php>

2021年4月にも「MIセミナーon Web 第2回」を開催しています。

<https://www.miuraz.co.jp/news/topics/2021/1060.php>